

第2次芦屋市市民参画協働推進計画実施状況報告書

基本目標1	＜そだつ＞ 市民参画・協働の意欲を高め市民の力を豊かにします			
成果目標 (指標)	市民活動や地域活動に取り組む人材が市民の間に育っていると考える市民・市職員の割合 「できている」とする市民 17.6% (平成26年度) → 25% (平成31年度末) 「できている」とする市職員 28.1% (平成26年度) → 35% (平成31年度末)			
取組項目		平成28年度実施状況	課題等	今後の取り組み
(1) 情報を手に入れやすく、分かりやすく	地域についての具体的な情報や行われている活動などの情報を獲得し、それを発信することの支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会だより等を市民参画課の掲示板・自治連ホームページに掲載し、各自治会等の取り組みについて周知している。 ・あしや市民活動センターのホームページで芦屋市の情報や登録団体のイベント等を紹介している。 ・広報あしやの「市民のひろば」欄に市民活動団体等のイベントを掲載し周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会だよりを作成していない自治会等がある。 ・時期により、地域のイベントについての問い合わせが多いが、情報が一元化されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あしや市民活動センターの情報発信機能を周知する。 ・より効果的で効率的な情報発信となるよう職員の意識向上を図る。
	市民参画・協働に関する多様な情報を、だれもが容易に入手できるよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体等がチラシ等を作成し周知を図っている。 ・あしや市民活動センター内でラック・パネルを活用し、団体情報を掲示している。 ・あしや市民活動センター登録団体の情報を、センターホームページにも掲載している。 ・あしや市民活動センターでNPO・ボランティアグループのための書き方講座を実施し、効果的なチラシを作成できるよう支援。 ・あしや市民活動センター季刊紙を発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・あしや市民活動センター登録団体の中に活動報告書等の開示を承知しない団体がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体への支援の中で、活動の紹介方法について支援を行っていく。
	多様な情報を多様な媒体で提供するとともに、これらをまとめた市民参画・協働に関する情報の窓口を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あしや市民活動センターホームページをリニューアル。 ・市民参画の手続(パブリックコメント等)について、「パブリックコメントの募集と結果」「市民委員の募集」としてホームページでまとめて公表している。 ・市ホームページ上でのカテゴリ・表示方法を整理して公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報提供の効果測定ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より充実した内容を情報発信できるよう、ホームページを随時更新していく。
(2) 学ぶ機会をゆたかに	さまざまな場面において、市民の主体的な学びを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あしや市民活動センターでのセミナー事業実施。 ・初心者のためのボランティア講座 ・あしや市民活動センター登録団体対象の自主講座企画支援事業 ・AED講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少ない講座がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の周知を図る。
	市民参画・協働・まちづくりに関する学習機会を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動等に関する出前講座の利用が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課と連携し、出前講座を利用しやすくする。
(3) 未来のまちづくり人を育てる	学校教育において、市民参画・協働やまちづくりへの関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「トライやるウィーク」の受け入れを開始。 ・「夏休み子どもスペシャル」の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催後に子どもたちがセンターに立ち寄るところまでいかなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の活動を継続していく。
	子どもたちへの地域活動への参加・体験学習を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらまつりに、学生ボランティアの参加があり、実践で学ぶ機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもって活動に参加できるよう工夫が必要である。 ・体験学習の場の拡充。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動について、オリエンテーションから振り返りまでの機会を持つ。
(4) 「人そだち」を支える	将来の地域を支える人材を地域とともに発掘し、地域とともに「人育ち」を支える。	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO・ボランティアグループのための書き方講座を開催。 ・自治会連合会で専門委員会を設置。活性化等について協議・検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘が不十分である。 ・自治会役員等の担い手不足、高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・あしや市民活動センター登録団体への支援 ・自治会活動の手引きの発行、自治会活動の紹介等

(4)「人そだち」を支える	地域活動の活性化に向けて、人や情報などを結び合わせる役割を充実する。	・「ボランティア受け入れの基礎講座」を開催。		・継続実施。
基本目標2	<つながる> 力を合わせるため連携の機会を充実します			
成果目標 (指標)	市民と市が協力し合って市内や地域の課題解決に取り組む機会が充分にあると考える市民・市職員の割合 「充分にある」とする市民 16.6% (平成26年度) → 25% (平成31年度末) 「充分にある」とする市職員 32.1% (平成26年度) → 40% (平成31年度末)			
	取組項目	平成28年度実施状況	課題	今後の取り組み
(1)まちづくりのための多様な舞台を充実	市民参画・協働へのきっかけを多彩に提供する。	・あしや市民活動フェスタの開催。		・市民活動フェスタの周知に努める。
	地域が課題を解決する力を高めるよう支援する。	・地域課題解決の仕組みづくり会議(あしや笑顔ネット)の設置。子どもをターゲットにした取組を検討。777プロジェクトを始動。		・777プロジェクトは実行委員会を通じて多彩な団体と協働して取り組む。 ・笑顔ネットでは、新たな課題について検討を開始する。
(2)みんなが分かり合い、つながり合う	市民(市民活動団体、事業者など)相互の連携機会を充実する。	・芦屋市内中間支援団体交流会 ・団体向けAED講習・交流会	・新しい団体にも参加してもらえるようにする。 ・団体間の交流で、新たな連携が生まれた。	・交流会の周知を図り、継続して実施。
	自治会とNPOなどの市民活動団体の交流・連携の機会を充実する。			
	市民と市の情報交流、連携の機会を充実する。	・まちづくり懇談会(市民と市長の懇談会)の実施(自治会連合会主催)	・市への要求が多く、地域が自ら地域課題の解決をするという形にならない。	・自治会連合会と、まちづくり懇談会のあり方を協議していく。 ・地域課題解決の仕組みの構築。
(3)市民の意欲と力を活かす	市民の創意と意欲を市民参画・協働で活かす仕組みを検討する。	・未実施	・市民からの自発的な提案等がなく、支援策も現在のところない。	・新たな補助事業の創設。
基本目標3	<すすむ> 市民活動を高めるための環境を整備します			
成果目標 (指標)	パブリックコメント制度を知っている市民の割合 「知っている」とする市民 18.3% (平成26年度) → 25% (平成31年度末)			
	取組項目	平成28年度実施状況	課題	今後の取り組み
(1)市民参画・協働への道をひろげる	市民参画・協働への理解と関心を高め、浸透を促す。	・パブリックコメントについては、同一の方法で実施し、閲覧場所を統一・拡大、閲覧資料の他、概要版を作成し、市民に意見をいただきやすくした。 ・広報掲示板で、パブリックコメントの実施を周知した。 ・あしや市民活動センターの季刊紙とホームページにもパブリックコメントについて掲載し、登録団体へダイレクトメールで周知した。	・意見を出しやすくするための工夫が必要である。	・実施要領の充実を図っていく。

(2)活動の自立を支える	市民活動などに関する助成制度などの情報を積極的に提供する。	・市民活動センターの相談事業や、ホームページで助成制度などを紹介している。	・運営資金等の問題で継続が難しい市民活動団体も存在する。	・個別相談や団体交流会の継続
	持続的な活動継続の仕組みづくりを支援する。	・個々の活動についての相談については、あしや市民活動センターの相談で対応している。	・市民活動団体が自立して活動できるように支援が必要である	
(3)ネットワークづくりと活動の場づくりを支える	あしや市民活動センター(リードあしや)の機能を充実する。	・あしや市民活動センターでの相談事業、情報提供を行っている。 ・季刊紙送付時に事業内容の同封を希望する団体に声掛けし送付作業を共同、交流会へ展開するなど、集まる機会を設け、自発的な交流に心がけている。	・すぐに解決できない複雑な相談が増え、継続相談の案件が目立ってきた。	・市民活動団体への支援を強化。
	身近な活動の場を充実する。	・未実施	・地区集会所の特定の年代層に偏らず、幅広い年代の利用が必要。	・地区集会所の管理・運営方法について協議。
基本目標4	<ささえる> 市民参画・協働推進の仕組みを整備します			
成果目標(指標)	協働した経験がある。協働している市職員の割合 「協働した経験がある。協働している」とする市職員 31.9% (平成26年度) → 40% (平成31年度末)			
取組項目		平成28年度実施状況	課題	今後の取り組み
(1)職員の市民参画・協働力をパワーアップ	職員が自発的に市民活動・地域活動に取り組む意欲を高める。	・職員研修の実施 ・自治連専門委員会での検討会の開催	・職員の協働参画への興味が低い。 ・協働事業を拡大したいと考えているが、その手法に悩んでいる課がある。	・自治会連合会の協力を得て、職員が研修として自治会活動に参加する仕組みを構築。
	市民参画・協働に積極的に取り組む職員を増やす。			
(2)庁内のつながりを密接に	全庁的に市民参画・協働への意識高揚と行動を促す。	・庁内ヒアリングの実施 ・自治連専門委員会での検討会の開催	・市からの依頼に加えて、他の公共機関等の配布物の依頼が多いと思われる。 ・一方的に依頼している場合もあり、各自治会の状況に応じた依頼方法をとっていない。	・協力しやすい依頼内容にするよう工夫を検討する。
	庁内の連携体制を充実する。			・庁内間の情報共有を図っていく。
(3)市民参画・協働の効果を高める	一貫した市民参画・協働の仕組みを構築する。	・未実施	・目的が同一であっても、行政内の縦割りな取組によって、各分野での関連が取れていない。	・全庁的な枠組みでの調整を検討する。
	成果目標を設定し、推進計画の進捗状況を定期的に点検し、評価する。	・平成27年度から芦屋市市民参画協働推進計画実施 ・第4次芦屋市総合計画(後期計画)策定の中で、指標の設定を行った。	・市全体の参画協働について、検証を行っていない。	・芦屋市市民参画協働推進会議にて評価を行っていく。 ・評価基準を定める。